



会長 高橋利光
幹事 山田正
会報 鈴木彦太 及川勝永
 後藤益美 森田峯男
例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2627回例会 2018. 1. 4 No.25

本日の出席率

・本日の出席率 66.1%

ニコニコボックス

- ・高橋利光会長 あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。
- ・鈴木彦太会員 新年おめでとうございます。今年も何卒宜しくお願ひします。ご繁栄をご祈念申し上げます。
- ・布施孝之会員 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。
- ・飯塚仁哉会員 新年を寿ぎ幸多き年でありますよう祈念致します。
- ・佐藤幸一会員 明けましておめでとうございます。今年も宜しくお付き合いをお願ひいたします。干支は戌年で年男です。頑張ります。
- ・江川元徳会員 新年恭喜、今年の願望は、世界平和、平和、そしてまた平和。
- ・八谷郁夫会員 本年もよろしくお願ひいたします。
- ・高田次雄会員 新年おめでとうございます。今年一年よろしくご指導下さい。年の始め誕生されました9名の皆さんおめでとうございます。
- ・菅原文之会員 あけましておめでとうございます。佐沼RC及び会員皆様にとって幸多き年でありませう、お祈り申し上げます。直前、身内に不幸があり年賀失礼した事おわび申し上げます。
- ・菅原慶一会員 明けましておめでとうございます。新年最初の例会は、武川毅委員長による職業奉仕フォーラムです。宜しくお願ひ致します。
- ・富士原裕子会員 今年も会員皆様にとって素晴らしい年でありますように!! フォーラム楽しみにしています。武川毅委員長ファイト。
- ・岩淵栄市会員 新年おめでとうございます。本年も何卒よろしくお願ひ致します。

- ・佐藤早智子会員 明けましておめでとうございます。今年も元気に頑張ります。
- ・山田正幹事以下 明けましておめでとうございます。佐々木崇会員 千葉吉男会員 山田直志会員 佐竹孝行会員 猪股育夫会員 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 布施孝尚会員 小野寺伸浩会員 武川毅会員 及川昭宏会員 杉田広仁会員 及川富男会員 以上、ありがとうございました。

会長要件 高橋利光会長

明けましておめでとうございます。昨年の大晦日から新年にかけては、穏やかな天候に恵まれ、皆様方には平穩に新年を迎えられたこととおよろこび申し上げます。私たちが佐沼ロータリークラブのこれからの行事を見ますと、1月25日には新年例会・歳祝い会がございます。間もなくご案内いたしますが、今年度はレディース会との合同で行う予定です。新年会のメインイベントは、阿部靖公会員による「マグロの解体ショー、即時販売」です。大畑好司委員長をはじめ親睦活動委員会のメンバーには、新年会に対する強い意気込みを感じておりますので、ロータリアンの皆様はもちろんのこと、大勢の奥様方のご参加をお待ちしております。また、2月には川崎大師ロータリークラブの創立45周年記念式典が開催されます。2月23日(金)午後6時より歓迎晩餐会、2月24日(土)午後5時30分より記念式典となっております。間もなく参加希望をとりますので、よろしくお願ひ致します。3月には、台北西門ロータリークラブの記念式典が開催されます。現在9名の参加申込みがあります。加藤亮副委員長が参加者を取りまとめているので、希望者はご連絡下さい。

幹事報告 山田正幹事

- ・台北西門RCより、新年のカードが届く
- ・川崎大師RCより、会報が届く
- ・佐沼高等学校ETAより、ETAだよりが届く
- ・登米市社会福祉協議会より クリスマス会協賛に対するお礼状及び社協だよりが届く。
- ・とめ青年会議所より 新年式典並びに祝賀会の案内
日 時 1月24日(水) 18:30~
会 場 ホテルサンシャイン佐沼
会 費 7,000円
- ・登米市倫理法人会より 新春講演会並びに賀詞交歓会の案内
日 時 1月15日(月) 18:30~
場 所 若鯨はさま会館
会 費 3,000円

誕生祝 (1月に誕生日を迎えられる会員)

高橋利光会員 宮崎裕会員 佐藤静市会員
 及川勝永会員 二階堂恭子会員 岩淵正彦会員
 阿部靖公会員 遠藤光則会員 関孝会員



1月に誕生日を迎えられる会員を代表して高橋利光会長、岩淵正彦会員

フォーラム

・職業奉仕委員会 (武川毅委員長)
 去年までは職業奉仕委員会のフォーラムは9月にやっておりましたが、今年度から1月が職業奉仕月間となりフォーラムの時期が1月に変わりました。私が入会した時から職業奉仕に関することが色々変わっておりますので、八谷郁夫P・Gにその辺を説明していただくことにしました。よろしくお願ひ致します。
・八谷郁夫P・Gの話
 情報委員会として職業奉仕について紹介させていただきます。考え方ですので、どのように捉えて自分のロータリー活動に活かしていくか考えていただければ良いのではないかと思います。職業奉仕というものは、ロータリー活動という奉仕理念であるということを入念に入れておいて下さい。色々奉仕活動をやっている団体がありますが、職業奉仕という形があるのはロータリーだけです。我々職業人が自らの事業の継続的な発展を願うことは当然なことです。親睦と会員の物質的相互扶助団体にすぎなかったロータリーに、ロータリアン自身

の事業を発展させたいというニーズと、企業倫理の欠如、低賃金、長時間労働、労働者の貧困、失業、無秩序な自由競争による経済競争、社会主義・共産主義化の台頭、1905年に起こったロシア革命、これらが資本主義体制崩壊の危機感、こういったことを感じてからクラブに経済活動の基本が生まれたということがございます。

新しい経営学に基づく奉仕理念を提唱したのが、1908年にシカゴロータリークラブに入会したアーサー・F・シェルドンです。シェルドンは、自らの事業を継続的に発展させるための学問的な要経営と理念の実践方法をロータリーの職業奉仕理念として認証したのであります。彼は経済学者であり、シェルドンスクールの創設者であり、1921年ロータリアンの数が8万人位であった頃、シェルドンスクールの卒業生は26万人を数えたと言われております。

大勢の卒業生を通じて、経営学を学ばせ実践させることによって社会的な組織にまで発展させたと言われております。シェルドンの考え方をみてみます。

継続的な事業の発展を得るためには、経営学の実践として、原理原則に基づいた企業経営を行う。原理原則とは、最初に与え、次に受け取り、三番目に保全するという3つの柱の実践であります。

ロータリアンの職業は、利益を得るための手段ではなくて、その職業を通じて社会に奉仕するために存在する。次に、良好な労働環境を提供するのは資本家の責務である。利益を独占するのではなく、従業員や取引先に関係する人たちと適正に分ち合うこと。事業失敗の最大の原因は、儲け優先の事業を営むことである。

職業奉仕は、職業倫理の高揚を目的とするのではなく、職業奉仕の実践が結果として高い職業倫理を生むと言っております。

自らの職業を通じて他人に奉仕をする。それをシェルドンが端的に示したモットーが、ロータリーの第二モットーであります「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」(He Profits Most Who Serves Best)。

因にロータリーの第一のモットーは「超我の奉仕」です。実際には第二のモットーが先に提唱されました。職業の成功は、サービスを与えた中にかかっている、職業というものは、それに係わる全ての当事者が、その取引先によって利益を得ることが出来なければ正当化されない。職業奉仕とは、科学的かつ合理的な企業の経営方法であり、シェルドンの職業奉仕理念に沿った企業経営をすれば、継続的に最高の利益を与えられると説いていたのであります。

ロータリーの職業奉仕とは、ロータリアンの経済活動そのものであり、成功への道しるべとなっております。

「四つのテスト」は、職業実践の指標でもあります。ハーバード・J・テーラーが1930年代の世界大恐慌時代に考えた言葉であります。これも良く理解しておく必要があります。日本語に訳されているものは、少々英文と異なる部分があります。

八谷郁夫P・Gの話のあと、数人の会員より職業観についてお話していただきました。